

増収トモナリ多岐双方ノ利益ナルヲ以テ要求ニ添ハ難シ但し解備
船ト雖モ会社ニ於テ解不足場合ハ優先的ニ使用スベシ
別記(2)
解決条件

- 但し合側ハ費者ノ作事ヲ支張シタルモ会社側ハ之ヲ忌避シタル多ク口ニ
ヲ以テ紛約シタリ
- 一 会社備航解備申渡シテ取備スル
 - 二 但し合側ハ提素書ニ対シテ各自会社ノ四角ヲ承認シ保固事項ニ対シテハ支條ヲ以
ハザル
 - 三 提素書ニ代與共スルモ合側ハ代與共セザルコト
 - 四 空航ノ引一五子花又草ノ加方面ヨリ手滑ノキハ事倍冬動ノ止ニ十錢ヲ支給ス
 - 五 之補本船ヨリ手滑ノ時ハ本許神田方面ハ船主ノ命一シタル場合ニ限リモ
毎五子才面ハ五子五子五子ヲ支給ス
 - 六 草加方面手滑ノ時ハ八子面ヨリ一五子額産ヨリ五十錢ノ手滑料ヲ支給ス
 - 七 草加方面手滑ノ時ハ八子面ヨリ一五子額産ヨリ五十錢ノ手滑料ヲ支給ス
 - 八 天災其ノ他不可抗力ニシテ難シ場合ハ再通運便ヲ支給ス
 - 九 一月以上ノ大作事ト見做シ事情ニ應ジテ十回以上五子五子ヲ支給ス
 - 十 勘定ハ月透レトスル事

85
5801

昭和九年八月二日

内務大臣 後藤 文夫 殿
社 會 局 長 官 殿

船夫解雇ニ依ル労働争議ニ關スル件 (發生一解決)

發生七、二六 解決七、二七
使用労働者五
争議参加者五
関係労働組合 船夫組合、A専使
船夫組合専使、A専使

警視總監 藤 沼 庄 平

要旨

一 重要案件ニ付正八船夫解雇事并船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
二 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
三 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
四 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
五 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
六 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
七 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
八 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
九 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇
十 船主組合等々ニ付テハ七月二十三日解雇

標記労働争議ノ状況左記ノ通リ

記

ca